

文字の解体新書



MOTOYA

もくじ

モトヤ書体を解剖	3
「抜群の可読性」が最大の特徴	3
可読性はトータルバランスから生まれる	4
タテ、ヨコいずれも可読性は抜群	5
大きさの統一性	6
寄り引きの調整	7
太さの統一性	7
文字の美しさ	8
漢字と仮名の調和	9
ファミリー別「書体の概要」	
明朝体ファミリー	10
ゴシック体ファミリー	12
シーダファミリー	13
マルベリファミリー	15
新聞明朝・新聞ゴシック	17
アポロファミリー	18
ステンシルアポロファミリー	20
丸アポロファミリー	21
バーチファミリー	22
ゴチカファミリー	24
アラタファミリー	25
正楷書ファミリー	26
新楷書ファミリー	28
隸書体ファミリー	30
行書体ファミリー	31
大楷ファミリー	32
教科書体ファミリー	33
古印体ファミリー	34
刀筆ファミリー	35

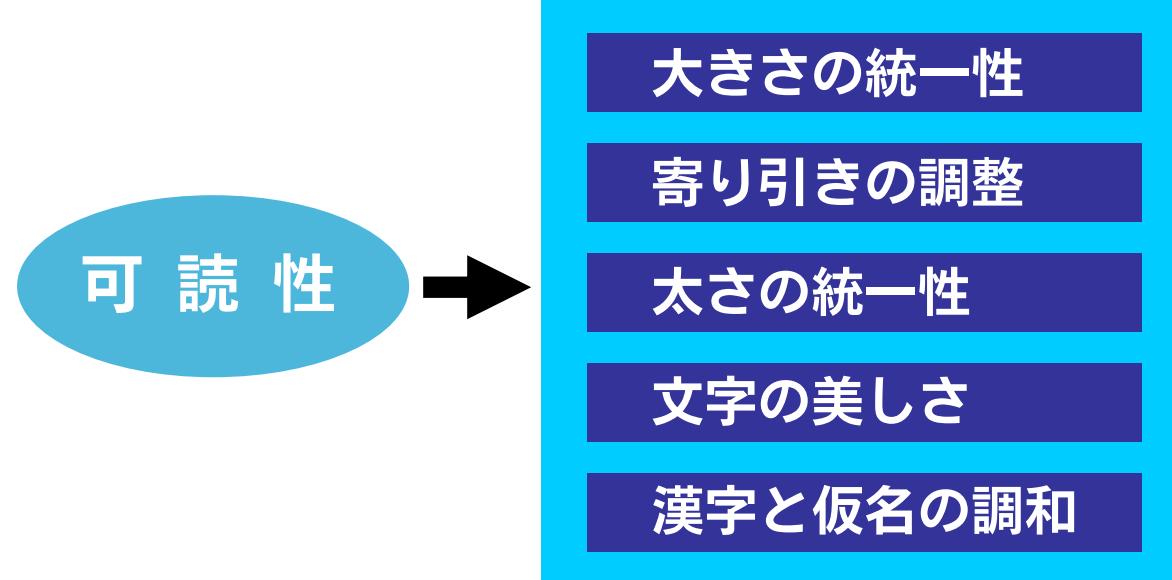
モトヤ書体を解剖

モトヤ書体の開発は、1950年代から始まり現在に至っています。この間モトヤ書体は、鉛活字、タイプ活字、写植用文字盤、デジタルフォント（ビットマップフォント・アウトラインフォント）と様々な組版手段に対応し、その製品形態を変えてきました。

しかし永年にわたる書体開発の歴史の中で、変わらないものが、「可読性の良さ」と「文字の美しさ」の追求です。

永

「抜群の可読性」が最大の特徴



可読性とは、上の「5つのトータルバランス」から生まれる「読みやすさ」や「読み心地の良さ」を意味します。

モトヤではそういった「読みやすさ」「読み心地の良さ」に加えて「見やすさ」を総称し、可読性と呼んでいます。

可読性はトータルバランスから生まれる

大きさの統一性

文字を無造作にレターフェイス（ボディサイズに対し文字が描ける最大範囲）いっぱいまでデザインすると、大きさの統一性が取れないばかりか、文字間隔がバラツキ、可読性を著しく損ないます。

寄り引きの調整

寄り引きとは、ボディサイズの中に配置される文字の位置のことです。これは文字が適切な大きさにデザインされていてはじめて実現できることで、どの文字もレターフェイスいっぱいにデザインされていては寄り引きの調整は出来ません。

太さの統一性

同一ウエイトの文字は、当然同じ太さに見えなければ可読性を損ないます。そこで視覚的に同じ太さになるように、画数の少ない簡単な文字と、画数の多い複雑な文字とで太さに差をつけます。

文字の美しさ

漢字にはそれぞれ固有の形、バランスがあり、例え外形がよく似た文字（例：用と月、日と目）でも同じ大きさにデザインするとアンバランスで不揃いな文字になってしまいます。

漢字と仮名の調和

仮名は簡単な形のものがほとんどのため、漢字と同じ大きさにデザインすると非常に大きく見えます。しかも文章を読む際、仮名は流し読みをするのが通常です。こういった意味から、仮名は漢字に対し少しこまめにデザインしなければなりません。但し、見出し用の仮名では「読む」よりも「見る」感覚が強いので、本文用よりも大きくデザインします。

タテ、ヨコいずれも可読性は抜群

縦組と横組

日本語の組版や可読性を語る時に、縦組と横組に触れないわけにはいきません。元々漢字も仮名も縦組用の文字であり、組版も長い間縦組が主流でした。そして多くの書体が、横組をあまり意識していないデザインであったため、横組が主流となり始めると大きな問題を抱えるようになりました。

仮名の役割

縦組と横組の違いにおいて一番大きな要素となるのが仮名です。仮名は本来、縦長の文字や扁平の文字、丸い文字や四角い文字といった様々な形から成り立っています。そして人間の目は、縦方向には追いにくく、横方向には正確に追えるという特性を持っているので、縦組の場合はこういった仮名本来の形のまま書体となっても良かったのです。

しかしこれをそのまま横組に当てはめると、デコボコして見えたり文字間隔もバラバラに見えてしまいます。そこで横組に適した形にするためには、バラツキのある形ができるだけ正方に近づけるように、デフォルメ（変形）しなければなりません。

本文用の神髄は全角にあり

最近は本文であれ、見出しあれ、とにかく仮名詰めをすればいいという組版が目立ちます。確かに見出しや短い文章を「見る」という目的で詰めると、凝縮された感じが出ていいのですが、長い文章を「読む」のには、流れが阻害され目が疲れる原因となるので適していません。

やはり日本語の本文には、全角で組んだ時に一番読みやすく、疲れない書体が最適であり正道だといえます。

可読性の良さは人に優しい

五つの要素からなる「可読性」の良さは、読んだ時の心地良さをもたらすと同時に、先にも述べたように目を疲れさせない効果も生みます。言い換えれば可読性の良い書体は、人に優しい書体だといえます。

モトヤ書体の可読性、横組適性は年季が違う

モトヤはいち早くこの目的のため、鉛活字の時代から何回も改良を加えてきました。モトヤ書体が縦組は勿論のことですが、特に横組において抜群の可読性を発揮するのはこのためです。

大きさの統一性

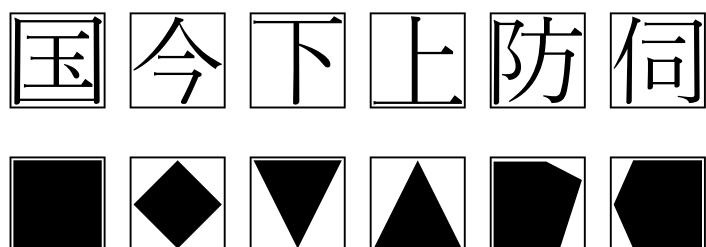
「同じ大きさにしても書体にはならない」

書体における一つ一つの文字は、どんな文字と組み合わさっても同じ大きさに見えなければ、可読性を損なう大きな原因となります。

漢字には、四角い文字（□）や三角形の文字（△）、逆三角形の文字（▽）、菱形の文字（◇）といったように、様々な形をしたものがあります。これらの文字を無造作に、レターフェイス（ボディサイズに対して文字が描ける最大範囲）いっぱいまでデザインすると下図のようになります。

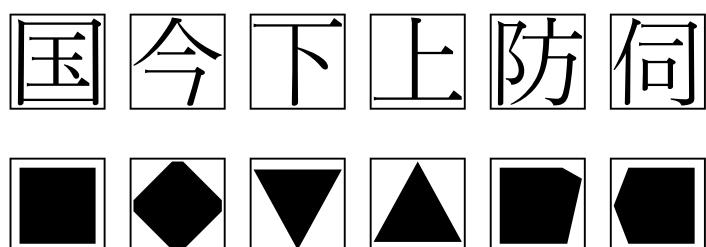
文字の大きさ（人間が見た大きさ）は、文字を構成する一画一画の長さではなく、その外形が占める面積に大きく影響されるので、当然四角い外形をした文字が一番大きく見えます。この文字をレターフェイスいっぱいにデザインしてしまったのでは、ほかの文字がいくら頑張っても同じ大きさにはなりません。そこで大きく見える字を小さめに、小さく見える字を大きくデザインするのですが、書体のウエイト（太さ）によってその度合いが変わってきますし、また8,000文字の中でその調整を行うには、長い経験とセンスを必要とします。

(A) 全ての文字をレターフェイスいっぱいにデザインしたもの



国…大きく見える
今…小さく見える
下…上がって見える
上…下がって見える
防…左寄りに見える
同…右寄りに見える

(B) 大きさと寄り引きを調整しデザインしたもの



国…全体に小さくする
今…懐を広くする
下…全体に下げる
上…全体に上げる
防…右に寄せる
同…左に寄せる

寄り引きの調整

「文字位置だけが寄り引きの調整ではない」

書体における一つ一つの文字は、どんな文字と組み合わさっても、また縦に組んでも横に組んでもそれぞれの文字が中心に見えなければ、可読性を損なう大きな原因となります。

大きさの統一性のところでも触れましたが、文字には様々な形のものがあり、例えば三角形の文字（△）は下がって見え、逆三角形の文字（▽）は上がって見えます。これは上下方向だけではなく左右方向も同じことで、それぞれ位置の調整を行なわなければなりません。

しかしここで文字の大きさが大きく関わってきます。全部の文字がレターフェイスいっぱいにデザインされ、大きさの調整ができていなければ、位置を変えたくても変えることはできません。つまりこの二つの要因は独立したものではなく密接に関連した事柄で、実際に書体をデザインしていく時は同時に満たしていかなければならない要因です。

太さの統一性

「漢字ほど画数に差のある文字はない」

同一書体の文字は、どの文字でも同じような太さに見えなければならないのは当然ですが、世界中を見渡しても漢字ほど画数に差のある文字はなく、その分太さの統一性は重要であり、また非常に難しい要素であるともいえます。

文字を見て太いとか黒いとか感じる原因には、実際の線が太いということ以外に空間の処理という要素があります。例えば明朝体の「鷹」や「轟」といった黒く見える文字は、一定線幅である横線の多さにその原因があるので、縦棒をいくら細くしてもあまり効果はなく、文字全体のバランスの中で、横線の配置、言い換えれば空間の割り方を調節しなければ適正な太さには見えません。また空間の割り方、処理という問題は横線だけではなく、漢字を構成する部品同士の間隔にも当てはまります。

最近、懐の広さに言及した書体をしばしば見かけますが、偏や旁、冠や足などの部品をやみくもに大きくしたため、それぞれの間隔が狭くなりすぎ、太さのバランスを崩しているものがあります。例えば「回」という字では、国がまえと口が相手のことも考えずに、それぞれが大きくなると、確かに大きくは見えますが、部分的に窮屈に見えるといった歪な文字になってしまいます。つまり空間というのは部品だけが占有しているのではなく、その間隔をも適切に配分しなければ、読みやすくスッキリとした文字にはならないということです。

文字の美しさ

「大きさや太さを揃えても美しい文字とはいえない」

漢字固有の造形

漢字は象形文字から発達した文字と、それらを用いて論理的に組み合わせた文字とに大別することができます。その中でも象形文字をルーツとする文字に、固有の形、バランスを持ったものが多く見られます。

漢字の形状、大きさ、字画や配置に留意してデザインをしないと、漢字のもつ形式美や様式美が損なわれます。

日本語書体は空間を生かす書体

「漢字固有の造形」と、先に述べた「大きさの統一性」「寄り引きの調整」とを併せて考えると、日本語書体は欧文のように空間を埋めていく書体ではなく、空間を生かしていく書体であるといえます。

漢字の造形の基礎は「書」にあり

それではどうすれば漢字固有の形やバランスを持ち、空間を生かした美しい文字ができるのか。

モトヤはその答えを「書」においています。

モトヤは文字の造形の基本を「書」におき、書体制作を行っています。

漢字と仮名の調和

「仮名が変われば書体の表情も変わる」

日本語書体の中で仮名の文字数は全体の2~3%にすぎません。しかしその使用頻度は高く、特に本文用の書体では70~80%が仮名で占められています。そういう意味では書体としての完成度や特徴、雰囲気の多くの部分を仮名が握っているとも言え、仮名をオプション書体（標準書体以外に23書体を収録した「仮名パック23」を用意）の仮名に変えるだけで、書体の表情まで変わって見えるのはこのためです。

市場に流通している書体には、仮名（特に平仮名）が本来持っている運筆の流れの美しさや柔らかさに大きな違いがあり、また横組適性にも差があります。

モトヤ書体の仮名は、仮名本来の美しさを失わずにいながら横組適性の取れた、言い換えれば「うまみのある文字」であり、直線的な漢字と組み合わさった時のコントラストは、絶妙な雰囲気をかもし出しています。また漢字に対して仮名を少し小さめにデザインすることで、文章の流し読みがしやすくなり、目の疲れを軽減させます。このことはモトヤ書体が絶対的な自信を持っているところです。

明朝体ファミリー

書体の概要

本文用は文字の黒味やつぶれを防ぐため、懐をバランス良く広くし、スッキリとした印象の書体にデザインしています。見出し用は、縦棒の下にふくらみを持たせ、楷書風の柔らかさを表現している書体です。大きなサイズで出力した時、力強さと共に明朝体独特の味わいをかもし出します。

モトヤ明朝 2	主に 10pt 前後で使用。あらゆる場面、幅広いサイズで抜群の「可読性」を発揮する究極の本文用書体。  亜啞娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcddefg
モトヤ明朝 3	少し大きめなサイズでの本文や、小見出しで使用。明朝 2 に比べ、少し引き締まった印象の書体。  亜啞娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcddefg
モトヤ明朝 4	主に中見出しで使用。特に貞物などでは、幅広いサイズで使用されている利用範囲の広い書体。  亜啞娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcddefg
モトヤ明朝 5	主に大見出しで使用。大きなサイズで出力した時に、明朝体独特の味わいと共に重量感を感じさせる書体。  亜啞娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcddefg

モトヤ明朝 6

永

大見出しやポスターのタイトルで使用。明朝の伝統的な美しさと共に重量感や迫力を感じさせる書体。

亞啞娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥
あいうえおアイウエオ、。～「」
0123456789 ABCDEFG abcdefg

ゴシック体ファミリー

書体の概要

ゴシック体は明朝体のように、横線や縦棒を装飾するウロコや、セリフといったものがないので、骨格線そのものが命である書体です。また横線にも画数に応じた太さの調整が必要となるので、太さの統一性を持たせるのが非常に難しい書体とも言えます。

モトヤのゴシック体ファミリーは、この二つの命題を克服すると同時に、背勢表現（はいせいひょうげん…文字の縦棒、横線を両端にいくほどラッパ状に太くし、アクセントをつける方法）を施すことにより、伝統と力強さと柔らかさを同時に感じさせる書体となっています。

モトヤゴシック 3	少し大きめなサイズでの本文や、小見出しで使用。明朝とのペアで頻繁に使用される書体。  亜哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcdefg
モトヤゴシック 4	主に中見出しで使用。特に貞物などでは、幅広いサイズで使用されている利用範囲の広い書体。  亜哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcdefg
モトヤゴシック 5	主に大見出しで使用。大きなサイズで出力した時に、伝統的な美しさと共に重量感を感じさせる書体。  亜哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcdefg
モトヤゴシック 6	大見出しやポスターのタイトルで使用。ゴシックの伝統的な美しさと共に重量感や迫力を感じさせる書体。  亜哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcdefg

シーダファミリー

書体の概要

シーダとは「杉」のことです。空に向かって直線的に伸びていく大らかさと、何百年もの樹齢を重ねた奥行きをイメージした書体です。シーダは懐を最大限に広げ、できるだけ大きく見えるようにしています。また背勢表現（縦棒や横線の両端につけるラッパ状のアクセント）をなくし、スッキリとした現代風の書体にデザインしています。

モトヤシーダ 1	極細のウエイト。小さいサイズでも文字が潰れにくく、キャプションなどに最適。  亜哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穂惡握渥 あいうえおアイウオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcdefg
モトヤシーダ 2	主に 10pt 前後で使用。本文用は勿論のこと、ポイントを少し落とした作表内での使用にも効果的。  亜哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穂惡握渥 あいうえおアイウオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcdefg
モトヤシーダ 3	少し大きめなサイズでの本文や、小見出しで使用。明朝とのペアで頻繁に使用される書体。  亜哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穂惡握渥 あいうえおアイウオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcdefg
モトヤシーダ 4	主に中見出しで使用。特に貞物などでは、幅広いサイズで使用されている利用範囲の広い書体。  亜哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穂惡握渥 あいうえおアイウオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcdefg

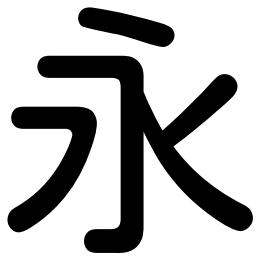
モトヤシーダ 5	<p>主に大見出しで使用。大きなサイズで出力した時に、力強さを感じさせる書体。</p> <p>亞哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcdefg</p>
モトヤシーダ 6	<p>主に大見出しで使用。大きなサイズで出力した時に、杉の樹齢にも似た重量感を感じさせる書体。</p> <p>亞哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcdefg</p>
モトヤシーダ 7	<p>大見出しやポスターのタイトルなどに使用。迫力と重量感を感じさせる書体。</p> <p>亞哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcdefg</p>
モトヤシーダ 8	<p>ポスターのタイトルなど、100pt を超えるような場面を想定し開発した書体。大きく使えば使うほど迫力満点。</p> <p>亞哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcdefg</p>

マルベリファミリー

書体の概要

この書体は、シーダの特徴を受け継いだ、言わばシーダの丸ゴシック版とも言える書体で、語感のイメージから同じ樹木のマルベリ「桑（くわ）」という名前にしました。

マルベリの開発に当たっては、懐を更に広げたり、仮名に丸みを持たせたりし、より丸ゴシックらしく見せるための処理を施しています。その結果マルベリは、充分な丸みを持ちながら、それでいてシーダの特徴であるスッキリとした印象を併せ持った書体に仕上がっています。こういった印象からすると、シーダの妹と言えるかもしれません。

モトヤマルベリ 2	主に 10pt 前後で使用。柔らかな表現や遊び感覚の文章などに最適。骨格がしっかりしているので幅広い用途に使用できる書体。  亜哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穂惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcdefg
モトヤマルベリ 3	少し大きめなサイズでの本文用や、小見出しで使用。本文を強調したり、小見出しに適している書体。  亜哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穂惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcdefg
モトヤマルベリ 4	主に中見出しで使用。特に貞物などでは、幅広いサイズで使用されている利用範囲の広い書体。  亜哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穂惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcdefg

モトヤマルベリ 5	主に大見出しで使用。大きなサイズで出力した時に、力強さと柔らかさを感じさせる書体。
	亜啞娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcdefg
モトヤマルベリ 6	主に大見出しで使用。大きなサイズで出力した時に、丸ゴシック独特のふくよかさや重量感を感じさせる書体。
	亜啞娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcdefg
モトヤマルベリ 7	大見出しやポスターのタイトルなどに使用。重量感と柔らかさを感じさせる書体。
	亜啞娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcdefg
モトヤマルベリ 8	ポスターのタイトルなど、100pt を超えるような場面を想定し開発した書体。大きく使えば使うほど迫力満点。
	亜啞娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcdefg

新聞明朝・新聞ゴシック

書体の概要

新聞用の扁平書体は、正体の書体に比べ字面（じづら）の面積が狭くなっています。このため、ただ正体を平体にしただけでは、文字の懐が狭く窮屈になり、紙面上で画数の違う文字間の濃度むらが生じます。そこで仮名や漢字の懐を広くするのですが、「偏」に対する「旁」の比率、「冠」に対する「足」の比率を少し大きくしなければ、文字を大きく見せることはできません。しかし懐を広げるというのは曲者で、前に述べた「大きさの統一性」に関する知識と技能がないと、簡単に広くできる文字を最大にしてしまい、結果として大小の格差の大きい、不揃いな書体となってしまいます。

モトヤの新聞用扁平書体は、明朝体ファミリー、ゴシック体ファミリーの系譜の中で、バランスよく懐を広げています。その結果、紙面上での濃度むらが極めて少なく、可読性に優れた書体となっています。

モトヤ新聞明朝 2	新聞の本文に使用。  亜啞娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcddefg
モトヤ新聞ゴシック 3	新聞の小見出しや、キャプションに使用。  亜啞娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcddefg

アポロファミリー

書体の概要

アポロは、明朝体のウロコ（横線の右端に付いている三角形の装飾）やカドウロコ（横線の右端と縦棒の上端が直角に交わる部分に付く三角形の装飾）を取り除き、懷を広くした書体で、1969年から、本文用（A2）のタイプ活字として販売していました。

書体としては、装飾部分が無く、空间を広くしているので、スッキリとして明るいイメージが特徴です。デジタル化するにあたり、懷をより広くし、トメハネ（」）の形状を変更しました。これはアポロの特徴を更に生かすためにリニューアルしたもので、清廉かつモダンなイメージが、より一層強調されています。

明朝体

永

タイプ活字

→ 永 →

新アポロ

永

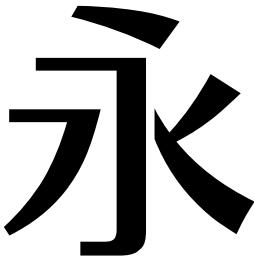
モトヤアポロ 1	極細のウエイト。小さいサイズでも文字が潰れにくく、詩やエッセイなどに使用すると、明朝体やゴシック体とは一味違う雰囲気が表現可能。  亞哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穂惡握渥 あいうえおアイウオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcddefg
モトヤアポロ 2	主に 10pt 前後で使用。詩やエッセイなどに使用すると、明朝体やゴシック体とは一味違う雰囲気が表現可能。  亞哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穂惡握渥 あいうえおアイウオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcddefg
モトヤアポロ 3	主に本文や、小見出しで使用。明るく清潔なイメージが、化粧品や薬品、貴金属などのロゴや説明文に最適。  亞哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穂惡握渥 あいうえおアイウオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcddefg

モトヤアポロ 4	<p>主に中見出しで使用。明るく清潔なイメージが、化粧品や薬品、貴金属などのロゴにも最適。</p> <p>永</p> <p>亞哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcdefg</p>
モトヤアポロ 5	<p>主に大見出しで使用。横線が明朝体より太いので、少し違った力強さが表現可能。</p> <p>永</p> <p>亞哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcdefg</p>
モトヤアポロ 6	<p>主に大見出しで使用。大きなサイズで出力した時に、明朝体やゴシック体とは違った明るさと力強さを発揮。</p> <p>永</p> <p>亞哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcdefg</p>
モトヤアポロ 7	<p>主に大見出しで使用。大きなサイズで出力した時に、明るいイメージを保ったまま、力強さが増大。</p> <p>永</p> <p>亞哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcdefg</p>
モトヤアポロ 8	<p>ポスターのタイトルや看板用に使用。大きく使えば使うほど、明るさと迫力が威力を発揮。</p> <p>永</p> <p>亞哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcdefg</p>

ステンシルアポロファミリー

書体の概要

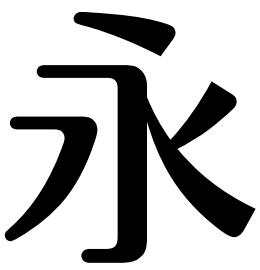
ステンシルアポロは、アポロの清涼感を残しつつ、ステンシル（図柄や模様などをくりぬいた型紙を用いて行う手法）を書体設計に採り入れてデザインされた、新感覚の書体です。ステンシル部分がアクセントの役割を果たしているため、アポロの持つシャープでエレガントな印象がより際立ち、幅広いシーンで効果的な表現が可能となります。

ステンシルアポロ 2	主に 10pt 前後で使用。詩やエッセイなどに使用すると、明朝体やゴシック体とは一味違う雰囲気が表現可能。  亞哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウオ、。～「」 0123456789ABCDEFabcdefg
ステンシルアポロ 4	主に中見出しで使用。明るく清潔なイメージが、化粧品や薬品、貴金属などのロゴにも最適。  亞哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウオ、。～「」 0123456789ABCDEFabcdefg
ステンシルアポロ 6	主に大見出しで使用。大きなサイズで出力した時に、明朝体やゴシック体とは違った明るさと力強さを発揮。  亞哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウオ、。～「」 0123456789ABCDEFabcdefg

丸アポロファミリー

書体の概要

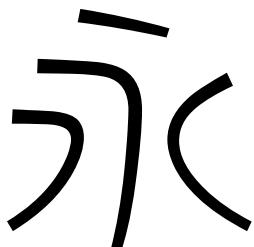
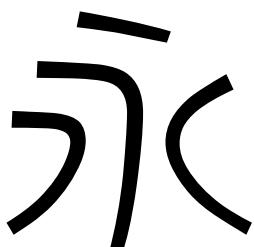
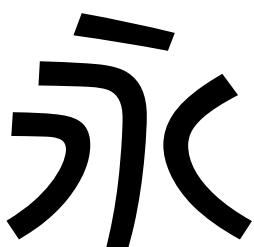
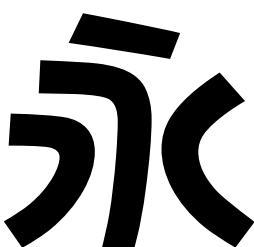
丸アポロは、スッキリとして明るいイメージが特徴のアポロから生まれた書体です。ハネ先や角を丸める事で柔らかさを表現。点の押さえや右ハライの終筆部分などは丸めず、鋭角にすることであらやかな中にもシャープさをかもし出しています。本文から見出しに使用可能な3ウェイトをラインナップ。より多彩な文章表現が可能となります。

丸アポロ 4 	主に中見出しで使用。明るく清潔なイメージが、化粧品や薬品、貴金属などのロゴにも最適。 亜啞娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウオ、。～「 0123456789ABCDEFGabcddefg
丸アポロ 6 	主に大見出しで使用。大きなサイズで出力した時に、明朝体やゴシック体とは違った明るさと力強さを発揮。 亜啞娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウオ、。～「 0123456789ABCDEFGabcddefg
丸アポロ 8 	ポスターのタイトルや看板用に使用。大きく使えば使うほど、明るさと迫力が威力を発揮。 亜啞娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウオ、。～「 0123456789ABCDEFGabcddefg

バーチファミリー

書体の概要

バーチは、モトヤ初のPOP書体です。バーチ「樺（かば）」とはカバノキ科の植物の総称で、シーダ・マルベリに続き、樹木から命名しました。バーチでは、「口」などの上部に丸みを持たせ、縦棒や横線の終筆を細く絞ることにより、柔らかさと鋭さを表現しています。チラシやポスター・テレビテロップなど幅広くご使用いただけます。一文字一文字がPOPで楽しい、思わずウキウキするような書体です。

モトヤバーチ 1	 極細のウエイト。小さいサイズでも文字が潰れにくく、柔らかな表現や遊び感覚の文章などに最適。
モトヤバーチ 2	 主に 10pt 前後で使用。柔らかな表現や遊び感覚の文章などに最適。POPに弾ける印象。
モトヤバーチ 3	 少し大きめなサイズでの本文用や、小見出しで使用。本文を強調したり、小見出しに適している書体。
モトヤバーチ 5	 主に大見出しで使用。チラシやポスター・テレビテロップなど利用範囲の広い書体。

モトヤバーチ 6

永

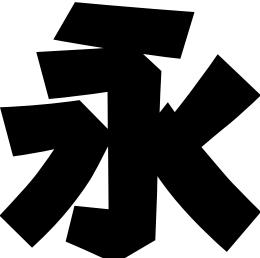
大見出しやポスターのタイトルなどに使用。重量感と柔らかさを感じさせる書体。

亞哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥
あいうえおアイウエオ、。～「」
0123456789ABCDEFGabcdefg

ゴチカファミリー

書体の概要

ゴチカは、ゴシック体をベースとして横線やハライに筆文字の勢いを表現することで、躍動感とチカラ強さを感じさせる書体です。仮名のデザインは、仮名が本来持っている運筆の流れの美しさや柔らかさを保ちながら、ゴチカの持つチカラ強さを加えることで迫力のある文章表現が可能となります。

モトヤゴチカ 4	主に中見出しで使用。ゴチカが与える躍動感とチカラ強さは、カタログやチラシのタイトルやキャッチコピーで威力を発揮。 
モトヤゴチカ 6	主に大見出しで使用。テレビテロップやゲーム・Webなどのデジタルコンテンツにも最適。 
モトヤゴチカ 8	一文字、一文字から伝わるゴチカの躍動感とチカラ強さが様々な場面で、文章表現に迫力とインパクトを与える。 

アラタファミリー

書体の概要

「懐かしいのに新しい」そんな表情を持つ金属活字の仮名書体アラタが、和文対応書体として帰ってきました。従来のアラタとは異なり、仮名文字のデザインを見直し、漢字との混植文章でも違和感なくご使用いただける、「新たなアラタ」です。

モトヤアラタ 2B 	少し大きめなサイズでの本文や、小見出しで使用。「懐かしいのに新しい」表情を持ち、その特徴的なエレメントが様々な場面で優雅さを演出。 亜啞娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcddefg
モトヤアラタ 4 	主に中見出しで使用。チラシやポスター・テレビテロップなどの広い利用範囲で、一味違う雰囲気が表現可能に。 亜啞娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcddefg
モトヤアラタ 6 	主に大見出しで使用。大きなサイズで使用することで、「懐かしい」表情と優雅さはそのままに、重量感と安定感を与える書体。 亜啞娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcddefg

正楷書ファミリー

書体の概要

活字書体における楷書体も、元々中国で作られた書体です。その書風はさすがに書道の国だけあって、唐の三大書家である歐陽詢（おうようじゅん）や、虞世南（ぐせいなん）の美点を採り入れた高雅な気品と、柔らか味のある優美さを持っていました。そのため、モトヤが正楷書を開発・発売した昭和 20 年代後半から 30 年代にかけて、中国では新聞以外の印刷物のほとんどが、楷書体で占められていたといっても過言ではありません。

わが国の楷書体は戦前、中国より移入したものですが、モトヤが正楷書を発売する以前は、戦災による一部消失に加え、複製に複製を繰り返したことや、その度に字面（じづら）の修正などによる彫刻師の我流が加わったことにより字体が崩れ、一定に崩ったものはどこにもなかったというのが実状でした。

そこでモトヤは、みずからも書家であり、書体デザイナーでもあった故・山田博人（デザイナー室長）が、まるで寄せ集めのようであった当時の楷書体を、歐陽詢の手による楷書体最高手本の一つである『九成宮醴泉銘（きゅうせいきゅうれいせんめい）』を基に、一つの統一された考え方を持って、字並びや文字の大小、線の太さに不揃いがないように整理統合し、「真に正しい楷書体、つまり『正楷書』と名づけ発売しました。

特徴は、まず文字の骨格をコンパクトにして、ハライ、特に左のハライより右のハライ（永、大、本など）を伸びやかにして文字自体の優美さ、品位を持たせていること。縦棒を太く横線をやや細くして、6 ポイントくらいの小さな文字でも目詰まりを起こさないように、逆に大きなポイントでは力強く見えるという相反する特性を、緻密なデザインにより達成しているところにあります。

また全体を通して、柔らかさと強さを同時に表現した筆使いや書風には、プロの書家ならではの風格があります。

モトヤ正楷書 3 	名刺、案内状、挨拶状、年賀状、暑中見舞いといったあらゆる格調、品格、優美を伴う印刷物に最適。 亞哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789 ABCDEFG abcdefg
モトヤ正楷書 5 	正楷書 3 が持つ、文字の優美さと、高い品位をそのまま継承。力強く重量感ある書風が、楷書体でのタイトルや見出しに最適。 亞哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789 ABCDEFG abcdefg

S モトヤ正楷書 3	従来の正楷書 3 の欧文・数字のデザインをセンチュリー系から、筆文字系に変更するとともに、天地サイズも少し小さくしている。
	紅約続緑組紙花英募薰菊萩茜 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcdefg
S モトヤ正楷書 5	従来の正楷書 5 の欧文・数字のデザインをセンチュリー系から、筆文字系に変更するとともに、天地サイズも少し小さくしている。
	紅約続緑組紙花英募薰菊萩茜 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcdefg

新楷書ファミリー

書体の概要

モトヤ正楷書3の「糸へん」や「草かんむり」は、その筆法の基としている歐陽詢（おうよじゅん）の『九成宮醴泉銘（きゅうせいきゅうれいせんめい）』に習い、古典的な形をしています。

(例) モトヤ正楷書3 紅緑花茜

これに対しモトヤ新楷書3の「糸へん」や「草かんむり」は、古典的な形から現代的な字形にしています。

(例) モトヤ新楷書3 紅緑花茜

古典的な楷書体に慣れ親しんだお客様は、正楷書の字形に違和感がなく、中には「楷書体はこうでなければ」という考え方のお客様もおられます。

一方最近では「学校で習った字形と違う」という理由や、ご婚礼の案内状などでは、「離れた草かんむりは縁が離れる」という縁起上の理由で、現代的な字形の楷書体が欲しいという要望が多く出てまいりました。

新楷書は、こういったお客様のご要望に応えるために開発された書体です。「糸へん」と「草かんむり」以外は正楷書と全く同一ですので、正楷書独特の筆使いや書風に何ら変わることはありません。

モトヤ正楷書3とモトヤ新楷書3の比較

モトヤ正楷書3 紅約統緑組紙花英幕薰菊萩茜

モトヤ新楷書3 紅約統緑組紙花英幕薰菊萩茜

モトヤ新楷書3 	正楷書3の「糸へん」と「草かんむり」を古典的な字形から現代的な字形に変更しており、ご婚礼関係などにも最適。 亞哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcdefg
モトヤ新楷書5 	正楷書5の「糸へん」と「草かんむり」を古典的な字形から現代的な字形に変更しており、ご婚礼関係などにも最適。 亞哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcdefg

S モトヤ新楷書 3	従来の新楷書 3 の欧文・数字のデザインをセンチュリー系から、筆文字系に変更するとともに、天地サイズも少し小さくしている。
	紅約続緑組紙花英募薰菊萩茜 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcdefg
S モトヤ新楷書 5	従来の新楷書 5 の欧文・数字のデザインをセンチュリー系から、筆文字系に変更するとともに、天地サイズも少し小さくしている。
	紅約続緑組紙花英募薰菊萩茜 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcdefg

隸書体ファミリー

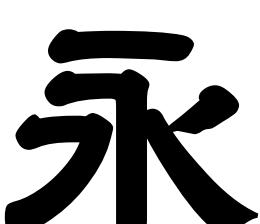
書体の概要

隸書体は漢の時代、主に皇帝の功績や事業などを記す公用文字として生まれました。

一般的に、筆文字は横線が右肩上がりになっているので、横組に適合しにくいという面を持っていますが、隸書体の横線は打ち込みと末端のハネ口に特徴があり、やや湾曲しながらも水平のイメージを持っているので、横に組んでも可読性が良く、しかも個性的な文字組みとなります。

こうしたことから、年賀状や各種案内状、商号・社名のロゴ、雑誌などの見出し、キャプション、あるいは本文と広い範囲で使用されています。

モトヤの隸書体は、横画（おうかく：横線）の打ち込みに力強さを持たせ、末端のハネ口に鋭さを表現しています。また、下ハライ（ノ）の一部では、わざと下から上へ逆に書いて筆勢を強調しており、これらがゆったりと湾曲している横画と融合し、のどかな雰囲気の中にも強く鋭いイメージを併せ持った書風を生み出しています。これは、一般的に柔らかい表現の隸書体が多い中で、モトヤ隸書体の大きな特徴といえます。

モトヤ隸書 2	主に 10pt 前後で使用。名刺、案内状、挨拶状、年賀状、書中見舞いなどに最適。横組みで威力発揮。  亞啞娃阿哀愛挨始逢葵茜穂惡握渥 あいうえおアイウエオ。～「」 0123456789ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz
モトヤ隸書 4	主に中見出しで使用。画数の違いによる文字の濃淡を感じさせないように空白の取り方が工夫されており、安定感につながっている。  亞啞娃阿哀愛挨始逢葵茜穂惡握渥 あいうえおアイウエオ。～「」 0123456789ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz
モトヤ隸書 6	読みやすく、なお且つインパクトがあり、本やパンフレットの題字などに適している。  亞啞娃阿哀愛挨始逢葵茜穂惡握渥 あいうえおアイウエオ。～「」 0123456789ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz

行書体ファミリー

書体の概要

行書体は書の歴史から見ると、隸書体を省略化した草書体の一つの形として、漢の時代に生まれており、楷書体以前に既に存在していました。

しかし、我が国では一般的に楷書体を崩した形、または速書きした形と考えられてきたため、日本語フォントの行書体の字形は、楷書体の字形から大きく外れるものは少なく、また崩しも誰もが読める範囲となっています。

楷書体に比べ横画（おうかく：横線）の右肩上がりの度合いが大きいものがあるので、一般的には縦組に使用されることが多く、年賀状、各種案内状または旅行関係の雑誌などにしばしば用いられています。

モトヤの行書体は横組適性も考慮し、制作しています。中でも終筆の「かえし」は本来縦につながる筆の動きなので、行書体の雰囲気を崩さない範囲で極力「かえし」を抑え、横書きの適性が向上するように工夫しています。また、行書体の命ともいえる流れるような運筆も、一画一画にまで気を配り作り上げていますので、華麗な筆さばきが目に浮かぶほど美しい行書体に仕上がっています。

モトヤ行書 3	名刺、案内状、年賀状、書中見舞いなどに使用。特に温かみや、優しさを表現するのに最適。  亞哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcddefg
S モトヤ行書 3	行書 3 の欧文数字を、従来のセンチュリー系から筆文字系に改良し、より良い和欧混植の形を求めた書体。  亞哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcddefg
S モトヤ行書 5	S 行書 3 が持つ、温かみや、やさしさをそのまま継承。力強く重量感ある書風が、タイトルや見出しに最適。  亞哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcddefg

大楷ファミリー

書体の概要

唐の三大書家のひとりに歐陽詢（おうようじゅん）がいました。モトヤの楷書体は、この歐陽詢の手による楷書体最高手本の一つである『九成宮醴泉銘（きゅうせいきゅうれいせんめい）』を基にしています。

モトヤの大楷は、そのしっかりとした骨格に、豊かな墨量で書き上げた楷書体ですが、同じく唐の三大書家のひとりである虞世南（ぐせいなん）の優しさや柔らかさをも採り入れました。

モトヤ正楷書3と比較すると、線質は丸みを帯び、懐は広く取っています。また、ハライやハネを少しラフなタッチの筆法で書き、重量感や強さを表現しています。

モトヤ大楷5 	商号、社名ロゴ、雑誌の見出しなど、筆文字で強調したい文字表現に最適です。 亜哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789 ABCDEF Gabcdefg
Sモトヤ大楷5 	大楷5の欧文数字を、従来のセンチュリー系から筆文字系に改良し、より良い和欧混植の形を求めた書体。 亜哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789 ABCDEF Gabcdefg

教科書体ファミリー

書体の概要 漢数字「三」に見る横画（おうかく）の秘密

教科書体は横画（横線）が肩上がりになっています。この角度が一文字の中でも、全文字を通じても揃っていなければなりません。例えば「量」という字で、角度の異なる横画が存在した場合、間の抜けた文字となり、また一文字単位で揃っていても他の文字と角度が違っていると、非常に不安定で読みづらい書体となります。しかし横画を揃えるということは、角度を均一にすることではなく、視覚的に見て揃えるということです。例えば「三」という文字は、上方から終筆に向かって、徐々に角度を浅くしており、これが横画を視覚的に揃える時の重要な技術です。

楷書系の文字を読んでいて、なんとなく落着かない書体が多くあります。これは横画を揃える技術が非常に難しく、実現できている書体が少ないからです。モトヤは定評のある正楷書体の制作以来、この技術を継承し研鑽してきました。教科書体もこの技術をフルに発揮し制作していますので、硬筆の力強さと楷書風の柔らかさを表現しながら、安定感あふれる読みやすい書体となっています。

モトヤ教科書 2	 教科書や学参物の本文用として、主に 10pt 前後で使用。楷書体として名刺や案内状に使用される場合も多い。
モトヤ教科書 3	 教科書や学参物の本文、小見出し、強調用として幅広く使用。楷書体として名刺や案内状に使用される場合も多い。
モトヤ教科書 4	 教科書や学参物の中見出し用、強調用として主に使用。楷書体として中見出しに使用される場合もある。

古印体ファミリー

書体の概要

古印体は、主に印章への使用を意識して制作された筆文字書体です。優美で柔らかな雰囲気と力強いアウトライン（骨格）を兼ね備えているため、実用性のある書体に仕上がっています。印章を始めとしてWebやゲームでの恐怖感演出や、飲食店・雑貨屋・古美術店など各種店舗の看板やお品書き、温泉・旅館・民宿の暖簾などの他、薬品関連、菓子・調味料の各種パッケージロゴなど、多様なジャンルに対応可能となっています。

古印体 3	少し大きめなサイズでの本文や、小見出しで使用。特徴的な筆づかいが新たな文字表現を生み出す。  亜 嘞 姥 阿 哀 愛 挨 始 逢 萍 苔 稂 慢 握 渥 あい うえお アイウエオ、。 ~ 「」 0123456789 ABCDEF Gabcdefg
古印体 5	主に大見出しで使用。大きなサイズで出力した時に、伝統的な美しさと共に重量感を感じさせる書体。  亜 嘞 姥 阿 哀 愛 挨 始 逢 萍 苔 稂 慢 握 渥 あい うえお アイウエオ、。 ~ 「」 0123456789 ABCDEF Gabcdefg

刀筆ファミリー

書体の概要

刀筆は、「爨宝子碑（さんぽうしひ）」という書の古典を基に制作され、ゴシック体の骨格に刀をイメージしたアクセントを付与し、鋭さや躍動感、伝統的な品格を表現した書体です。3ウェイトのファミリーを開発しており、本文・見出しなど、様々な場面で文章に切れ味を与えます。

モトヤ刀筆 2B	少し大きめなサイズでの本文や、小見出しで使用。伝統的な品格を持ち、様々な場面で文章に切れ味を与える刃こぼれしない書体。
モトヤ刀筆 4	主に中見出しで使用。刀をイメージしたアクセントと肩上がりのフォルムが鋭さと躍動感を演出。
モトヤ刀筆 6	主に大見出しで使用。大きなサイズで使用することで、鋭さと躍動感が増し迫力ある文章表現が可能に。
	亜哩娃阿哀愛挨始逢葵茜穢惡握渥 あいうえおアイウエオ、。～「」 0123456789ABCDEFGabcdefg

〈本書の一部または全部を無断で転載、複製することを禁止します〉

文字の解体新書 Ver.5.00



株式会社 モトヤ

フォントオンラインストア・モトショップ

URL <http://www.motoyafont.jp/>

E-mail f-info@motoya.co.jp

全国事業所

大阪	〒542-0081	大阪府大阪市中央区南船場 1-10-25	TEL (06) 6261-1931 (代)
東京	〒104-0032	東京都中央区八丁堀 4-5-5	TEL (03) 3523-8711 (代)
横浜	〒221-0841	神奈川県横浜市神奈川区松本町 3-21-15	TEL (045) 322-3371 (代)
千葉	〒266-0032	千葉県千葉市緑区おゆみ野中央 1-18-15 桂ビル学園前 1 階	TEL (043) 292-1461 (代)
名古屋	〒461-0035	愛知県名古屋市東区黒門町 128	TEL (052) 935-5315 (代)
京都	〒615-0065	京都府京都市右京区西院日照町 124	TEL (075) 323-0567 (代)
神戸	〒653-0036	兵庫県神戸市長田区腕塚町 4-1-19	TEL (078) 612-9221 (代)
姫路	〒670-0932	兵庫県姫路市下寺町 61	TEL (079) 282-0876 (代)
福岡	〒812-0016	福岡県福岡市博多区博多駅南 4-15-33	TEL (092) 433-8320 (代)